

日本原子力学会標準
AESJ-SC-P005:2016(Amd.1)
「原子力発電所の高経年化対策実施基準: 2016 (追補 1)」

正誤表

No.	箇所	誤	正	備考
附属書 A 添付資料-4 (別冊) 経年劣化メカニズムまとめ表-PWR				
1	P06-43 No.20	(記載なし)	ブッシュ (ステライト) の摩耗	別紙 1 参照

経年劣化メカニズムまとめ表-PWR

(1/1)

P06-43 弁（スイング逆止弁／屋内／苛性ソーダ溶液／ステンレス鋼）

No.	機能達成に必要な項目	部位	材料	経年劣化事象	高経年化技術評価不要の条件	耐震安全上の機能別評価項目		耐震上の影響			
						静的機能	動的機能				
1	バウンダリの維持	弁箱	ステンレス鋼鋳鋼	腐食（全面腐食）	①	★	★	/			
2				応力腐食割れ	①						
3		弁蓋	ステンレス鋼	腐食（全面腐食）	①	★	-				
4				応力腐食割れ	①						
5				弁蓋ボルト	低合金鋼				腐食（全面腐食）	③	
6				ガスケット	-				（消耗品・定期取替品）	-	
7	閉止機能の維持 作動機能の維持	弁体	ステンレス鋼 （ステライト肉盛）	摩耗		/	/				
8				腐食（全面腐食）	①						
9				応力腐食割れ	①						
10		弁座	ステンレス鋼 （ステライト肉盛）	摩耗		/	-				
11				腐食（全面腐食）	①						
12				応力腐食割れ	①						
13		弁棒	ステンレス鋼	摩耗		/	-				
14				腐食（全面腐食）	①						
15				応力腐食割れ	①						
16				アーム	ステンレス鋼			摩耗		/	-
17								腐食（全面腐食）	①		
18								応力腐食割れ	①		
19	ブッシュ	ステライト	（消耗品・定期取替品）		/	-					
20				摩耗		/	-				

注記 弁座が弁箱弁座部の場合、摩耗の耐震上の影響は▼。

使用上の注意点

ブッシュなどを消耗品・定期取替品として高経年化技術評価の対象外とする場合、劣化管理が不要である理由（取替頻度、取替基準など管理方法）を明確にする必要がある。

明確でない場合は、本文6.3.3.1に規定のとおり、附属書C又は附属書Aに従って、経年劣化事象を抽出する必要がある。

【本文規定】

6.3.3.1 部位・経年劣化事象の抽出

評価対象機器に対して、附属書CのC.1～C.8に従って、部位・経年劣化事象を抽出する。附属書Cに具体的手法が規定されていない経年劣化事象については、附属書Aに従って、部位・経年劣化事象を抽出する。

消耗品・定期取替品は、劣化管理が不要である理由を明確にすることで、高経年化技術評価の対象外とすることができる。

なお、部位・経年劣化事象の抽出においては、原子力発電所の経年劣化に関する最新知見及び運転経験を調査対象期間を定めて調査・分析し、反映する。また、調査対象期間の終点は、高経年化技術評価に要する期間などを考慮し、決定する。